

テレワーク向けサーバー連携型プロジェクト運営ソフトの開発 —ほうれんそう(報告・連絡・相談)を「見える化」—

1. 背景

政府は、再チャレンジの推進、労働力の増強、少子化対策を目的に「テレワーク¹の普及」を進める中、「テレワーク人口倍増アクションプラン」において、2010年に、就業人口の2割をテレワーカーとするための具体的な行動計画を提示した。

この方針のもと、企業においてテレワーク制度導入の検討が進み、テレワークを実現するためのIT環境として、シンクライアント端末の導入や、セキュリティのあるネットワーク環境の構築、グループウェアやプロジェクトの進行状況を管理するツールなどの開発が中心に進められている。

しかし、複数のテレワーカーが、協力し合って業務を進めるのに不可欠な「業務推進のための高密度なコミュニケーションをとる」有用かつ標準的なソフトウェアは登場していない。この状況を通常のオフィスにたとえると、セキュリティのある安全な「オフィス」と、仕事をするための「個人の机」や、キャビネット、カレンダー、スケジュール管理表などの「備品」は揃えたが、実際にプロジェクトを進めるために議論する「会議テーブル」がない、という状態に等しいという状況である。

2. 目的

企業における業務は、「個人」ではなく「プロジェクト」単位が一般的であり、企業内テレワークにおいても、従来型の個人同士のコミュニケーションではなく、プロジェクト単位での密度の高いコミュニケーションをとるシステムが必要不可欠となる。テレワークを実現し、かつ、企業のプロジェクト推進の効率向上を実現するための、これらの機能を提供できるプロジェクト業務運営システムを、テレワークを導入する企業、自治体に販売提供することで、継続的、実践的なテレワーク環境を提供することが可能となる。

本プロジェクトは、株式会社ワイズスタッフが独自に開発した、複数のテレワーカーによるプロジェクトを運営するソフト「Pro.メール²」と、その運営ノウハウをベースに、テレワークの導入やテレワーク業務の効率化等の課題解決を行なうことを目的とし、既存の「Pro.メール」のセキュリティ強化およびASPサービス対応とする販売システムを開発するもので、大企業だけでなく、中小企業にも気軽に利用できるようSaaS形態のサービス提供で事業化を目指すものである。

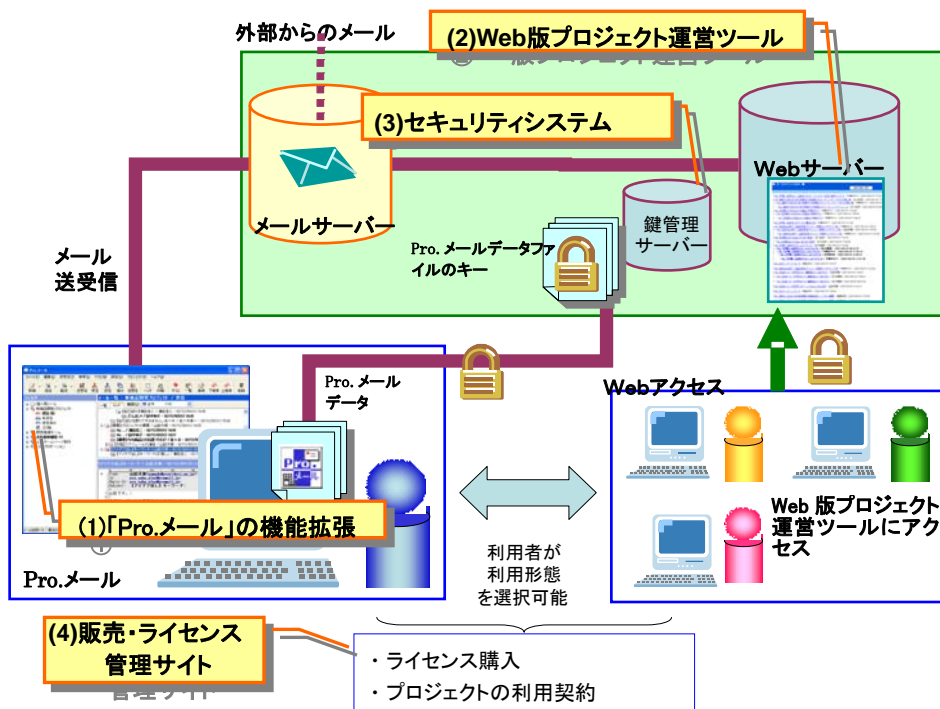
¹テレワーク:ICT(情報通信技術)を活用した、時間と場所にとらわれない柔軟な働き方の総称。

²Pro.メール:特許 3363144号 名称「通信システムおよびコミュニケーション支援方法」

3. 開発の内容

<http://www.promail.jp/>

本システムは、既存のメーラー型のプロジェクト運営ツール「Pro. メール」を核とし、Pro.メールのセキュリティ向上を含む機能強化と、Web 版プロジェクト運営ツールの開発、および、ASP サービスを行なうための販売・ライセンス管理システムを、開発するものである。



【システム利用の流れ】

- ①「販売・ライセンス管理サイト」で、Pro.メールのライセンスを購入する。
- ②「販売・ライセンス管理サイト」で、プロジェクトの利用契約を行う。
- ③「Pro.メール」または、Web 版プロジェクト運営ツールを利用し、プロジェクトに参加可能となる。

開発するソフトウェアは、以下の環境で動作することを想定している。

①クライアント用ソフトおよび、セキュリティシステム

・ハードウェア:

Windows XP/2000 の場合

CPU:PentiumⅢ 600MHz 相当以上、メモリ:256MB 以上、HDD:20GB 以上

Windows Vista の場合

CPU:PentiumⅢ 800MHz 相当以上、メモリ:1GB 以上、HDD:40GB 以上

・OS:

Windows Vista/Ultimate/Enterprise/Business/

Home Premium/HomeBasic/ Windows XP SP2 /2000 SP4

②Web用ソフトおよび、販売・管理システム

・ハードウェア:

CPU:PentiumⅢ 750MHz 相当以上、メモリ:512MB 以上、HDD:40GB 以上

・OS:

Redhat Enterprise Linux 3 以降

・WWW サーバソフト:

Apache 1.3.36 以上

・アプリケーションサーバソフト:

Tomcat5.5 以降

・データベース管理ソフト:

MySQL5.0 以降

・WWW ブラウザ:

Windows 版 Microsoft Internet Explorer Ver6.0 SP2 以上

Windows 版 Firefox 2.0 以上

Mac OS X 版 Safari 2.0 以上

4. 従来の技術(または機能)との相違

弊社は、5 年前に、複数のテレワーカーによるプロジェクトを運営するソフト「Pro.メール」を自社開発(特許 3363144 号 名称「通信システムおよびコミュニケーション支援方法」)、遠隔地に点在するテレワーカーを管理、プロジェクト運営の実績を重ねてきた。

類似するソフトウェアとしては、現時点で存在していないため、比較することはできないが、今後ニーズに呼応する形で、テレワークを導入するIT企業を中心に開発が進む可能性がある。しかし、この種のソフトウェアは、従来に無かったため、運用実績、体制がすでにある弊社において、他社に負けない利便性、実用性のあるソフトウェアを構築することができた。

5. 期待される効果

政府が 2010 年に向けて推進しているテレワークの普及施策において、業務のコミュニケーションツールは注目されており、グループウェアなどとともに、大企業だけでなく中小企業も含めた市場の広がりが予測される中、本ソフトウェアにより、企業内・業務内コミュニケーションの活性化による業務効率の向上や、テレワーク普及の促進などが、より活性化されると考える。

6. 普及(または活用)の見通し

Pro.メール 2.0 ホームページ www.promail.jp のインターネット上の広告展開や、専用ソフト及びプロジェクトサービスのお試し版の提供などで周知を図りながら、SaaS モデル販売を中心に導入企業・団体の獲得を目指す。

7. 開発者名

株式会社ワイズスタッフ

<http://www.ysstaff.co.jp/>